

《履修上の留意事項》遠隔授業のみで実施

《担当者名》○中川賀嗣 今井智子 太田亨 下村敦司 田村至 榊原健一 橋本竜作 福田真二 黒崎芳子 小林健史
前田秀彦 森元良太 柳田早織 飯泉智子 葛西聡子 大澤昌之

【概 要】

3年半で学んできた学習成果を振り返り、言語聴覚療法に関する基礎および専門分野の知識の定着を図る。

【学習目標】

言語聴覚士として必要な知識や技術を適切に備え、これらを実践の場で活用するために、これまでに学んだ言語聴覚療法に関する基礎および専門分野の知識の整理統合を行う。

1. 言語聴覚療法に必要な基礎知識（基礎医学、心理学、音声・言語学、社会福祉・教育などの領域）について説明できる。
2. 言語聴覚療法の対象となる疾患と障害の成り立ちおよび症状について説明できる。
3. 言語聴覚療法の検査・診断およびこれらの実施方法について説明できる。
4. 言語聴覚療法の治療法について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	科目の概要、学習目標、講義日程、学習内容、評価方法、推薦図書、学習の準備、学習ノートの作成方法等を理解する。	福田真二
2) 3	基礎医学	医学総論、解剖学、生理学、病理学について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	下村敦司
4) 10	臨床医学	内科学、神経学、小児科学、精神医学、リハビリテーション学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	太田亨 中川賀嗣 大澤昌之
11) 12	音声聴覚医学	呼吸発声発語系の構造・機能・病態、聴覚系の構造・機能・病態、および神経系の構造・機能・病態について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	中川賀嗣
13) 17	心理学	認知・学習心理、心理測定法、臨床心理学、生涯発達心理学について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	橋本竜作 森元良太
18) 22	音声・言語学	音声学、音響学、聴覚心理学、言語学、言語発達学について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	榊原健一 福田真二
23	社会福祉・教育	社会保障制度、リハビリテーション概論、医療福祉教育、関係法規について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	柳田早織 下村敦司
24) 25	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学総論、言語聴覚障害診断学について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	田村至
26) 28	失語症	失語症の定義、言語症状と失語症候群、評価・診断、訓練・援助、後天性小児失語症について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	中川賀嗣 田村至 黒崎芳子
29) 30	高次脳機能障害	神経心理学の基本概念、各種高次脳機能障害の病巣・症状・検査、高次脳機能障害の指導・訓練について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	中川賀嗣 田村至 黒崎芳子
31	言語発達障害学	言語発達障害の総論、評価、指導・訓練について、言	福田真二

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
35		語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	橋本竜作 小林健史
36 37 40	発声発語・嚥下障害学	音声障害、構音障害、嚥下障害、吃音について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	今井智子 柳田早織 飯泉智子
41 42 45	聴覚障害学	小児聴覚障害、成人聴覚障害、補聴器・人工内耳、視聴覚二重障害について、言語聴覚士として必要な知識をまとめ、確認する。	前田 秀彦 葛西 聡子

【評価方法】

単位認定試験 100%

試験実施後、問題に対する疑義に対しては、解説および模範解答を開示する。

【備 考】

教科書：広瀬肇 監 「言語聴覚士テキスト 第3版」 医歯薬出版 2018年

参考書：医療研修推進財団 監 「言語聴覚士国家試験出題基準平成30年4月版」 医歯薬出版 2018年
言語聴覚士国家試験対策委員会 編 「言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説 2021年版」 大揚社 2020年
その他、各領域の専門の教員が適宜、紹介する。

その他：1. 講義は変則日程で開講される。相当数の補講の実施が予定されている。
2. 開講日時は掲示等で発表される。常に掲示を確認して、開講日時の変更に留意すること。
3. 単位認定試験の詳細は、ガイダンスにて説明する。

【学習の準備】

各領域の専門の教員がオムニバス形式で講義をするので、それぞれの担当教員の指示に従って予習（80分）と復習（80分）を行うこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。